



## 2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 日本システムバンク株式会社 上場取引所 名  
コード番号 5530 URL https://www.syb.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野坂 信嘉  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 安嶋 一 TEL 0776-30-1800  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 2024年2月29日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（当社ウェブサイトにて決算説明の動画配信予定）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第2四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	3,674	9.1	290	12.7	285	13.2	180	18.5
2023年6月期第2四半期	3,367	△1.5	257	38.2	252	39.1	152	△12.9

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 188百万円 (19.8%) 2023年6月期第2四半期 157百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	158.28	—
2023年6月期第2四半期	146.37	—

(注) 2023年6月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

2024年6月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	6,929	2,192	31.6
2023年6月期	6,874	2,048	29.8

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 2,192百万円 2023年6月期 2,048百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	24.00	—	39.00	63.00
2024年6月期	—	24.00	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	—	—	29.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
2023年6月期の期末配当には上場記念配当10円00銭が含まれております。

### 3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,150	3.8	444	3.3	432	2.0	262	△1.4	229.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	1,145,144株	2023年6月期	1,145,144株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	1,668株	2023年6月期	1,668株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	1,143,476株	2023年6月期2Q	1,043,736株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、物価上昇、世界的な金融引き締めによる影響があるものの、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復がみられました。

当社グループが属する駐車場業界におきましては、企業活動の持ち直し、個人消費の持ち直しに伴い、駐車場の稼働率は順調に推移しました。

このような環境のもと、当社グループは、収益の安定化と売上の拡大を目標に新規投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,674,452千円（前年同期比9.1%増）、営業利益は290,556千円（前年同期比12.7%増）、経常利益は285,505千円（前年同期比13.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は180,985千円（前年同期比18.5%増）となりました。

報告セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

#### ① コインパーキング事業

当社グループのコインパーキング事業は、主に、コインパーキングの運営ビジネスと駐車場機器の販売・保守ビジネスで構成されています。前者では、土地所有者から当社グループが土地を賃借し、当社グループ直営の駐車場・駐輪場として運営し、後者では、当社グループが駐車場運営事業者から駐車場機器を販売し、当社グループが駐車場システムの保守業務を受託しております。当第2四半期連結累計期間における直営及び管理受託している駐車場・駐輪場数及び車室数は以下のとおりであります。

(直営及び管理受託の運営駐車場・駐輪場数)

区分	当期首	増加	減少	当期末	増減
直営駐車場・駐輪場 (件)	1,201	66	33	1,234	33
管理受託駐車場・ 駐輪場(件)	6,171	210	205	6,176	5

(車室数)

区分	当期首	増加	減少	当期末	増減
直営駐車場・駐輪場 (車室)	22,507	1,204	600	23,111	604
管理受託駐車場・ 駐輪場(車室)	113,799	7,678	3,441	118,036	4,237

コインパーキング運営ビジネスにおける新規開設については、収益の安定化を目的として、感染症の影響を受けにくい住宅街等の郊外を中心に進めました。既存駐車場については、駐車場の需給バランスを考慮した料金改定の最適化を継続的に実施し、収益力の向上に努めました。

駐車場機器の販売・保守ビジネスにおける新規受託については、駐車場検索・利用料金決済が出来るスマートフォンアプリ「SmooPA」にPayPayによる決済機能を追加し利便性を向上することで、新規得意先の獲得に努めました。なお、管理受託駐車場・駐輪場車室数が増加した主な要因は、駐輪場の新規受託が好調であったためであります。既存得意先においては、土地の売却による解約、不採算による解約により管理受託駐車場・駐輪場数は低調に推移しました。

また、駐車場システム向けの紙幣識別機（2024年発行予定の新紙幣対応）の入替、駐車料金領収書のインボイス制度対応に注力し売上増加を図りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における外部顧客への売上高は3,608,015千円（前年同期比9.2%増）、セグメント利益は535,088千円（前年同期比10.2%増）となりました。

#### ② プロパティマネジメント事業

当第2四半期連結累計期間においては、賃貸用建物の入居率がアップしました。その結果、外部顧客への売上高は62,808千円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は7,073千円（前年同期比761.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、2,143,276千円と前連結会計年度末と比べ20,407千円(0.9%)の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少51,454千円、売掛金の増加41,042千円及びリース債権の減少10,327千円であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、4,786,285千円と前連結会計年度末と比べ75,626千円(1.6%)の増加となりました。その主な要因は、有形固定資産の増加91,641千円、無形固定資産の減少7,597千円及び投資その他の資産の減少8,416千円であります。

有形固定資産につきましては、直営駐車場・駐輪場の新規開設に係る設備投資による機械装置及び運搬具の増加103,314千円が主な要因であります。

無形固定資産につきましては、減価償却が進んだことが主な要因であります。

投資その他の資産につきましては、保有株式の売却などによる投資有価証券の減少4,684千円が主な要因であります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,862,652千円と前連結会計年度末と比べ137,131千円(6.9%)の減少となりました。その主な要因は、賞与引当金の減少80,079千円、及び1年内返済予定の長期借入金の減少108,257千円であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、2,874,804千円と前連結会計年度末と比べ48,543千円(1.7%)の増加となりました。その主な要因は、長期借入金の増加37,170千円、資産除去債務の増加30,131千円及びリース債務の減少14,722千円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、2,192,105千円と前連結会計年度末と比べ143,808千円(7.0%)の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加136,389千円であります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,376,984千円(前年同期比5.7%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、295,593千円(前第2四半期連結累計期間は得られた資金187,215千円)となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益284,344千円、減価償却費166,525千円、未払消費税等の増加額37,885千円であった一方で、売上債権の増加額30,715千円、法人税等の支払額80,234千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、206,476千円(前第2四半期連結累計期間は使用した資金203,083千円)となりました。その主な要因は、投資有価証券の売却による収入が25,029千円、有形固定資産の取得による支出が218,695千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、140,571千円(前第2四半期連結累計期間は使用した資金300,101千円)となりました。その主な要因は、長期借入れによる収入300,000千円、長期借入金の返済による支出371,087千円及び配当金の支払額44,595千円であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、「サマリー情報 3. 2024年6月期の連結業績予想」に記載のとおりであります。経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,428,439	1,376,984
売掛金	338,730	379,773
リース債権	15,653	5,326
仕掛品	14,074	10,561
貯蔵品	87,130	104,893
前払費用	257,196	248,102
その他	22,459	17,635
流動資産合計	2,163,683	2,143,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	842,395	827,857
機械装置及び運搬具（純額）	312,357	415,671
土地	3,001,575	3,008,481
リース資産（純額）	21,823	13,231
建設仮勘定	10,558	7,908
その他（純額）	92,851	100,051
有形固定資産合計	4,281,561	4,373,202
無形固定資産		
のれん	7,185	5,015
その他	62,167	56,739
無形固定資産合計	69,353	61,755
投資その他の資産		
投資有価証券	89,377	84,692
敷金及び保証金	134,309	134,695
繰延税金資産	80,018	76,768
その他	56,038	55,170
投資その他の資産合計	359,743	351,327
固定資産合計	4,710,658	4,786,285
資産合計	6,874,342	6,929,561

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	459,435	432,625
1年内返済予定の長期借入金	729,461	621,204
リース債務	41,649	32,889
未払費用	63,915	109,229
未払法人税等	99,028	121,093
契約負債	59,085	61,874
預り金	372,427	355,200
賞与引当金	80,079	—
その他	94,701	128,535
流動負債合計	1,999,783	1,862,652
固定負債		
長期借入金	2,212,638	2,249,808
リース債務	29,755	15,033
資産除去債務	482,210	512,342
長期預り敷金保証金	87,497	84,867
繰延税金負債	7,503	7,503
その他	6,655	5,249
固定負債合計	2,826,260	2,874,804
負債合計	4,826,044	4,737,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	583,630	583,630
資本剰余金	647,797	647,797
利益剰余金	812,600	948,990
自己株式	△2,038	△2,038
株主資本合計	2,041,990	2,178,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,307	13,725
その他の包括利益累計額合計	6,307	13,725
純資産合計	2,048,297	2,192,105
負債純資産合計	6,874,342	6,929,561

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,367,607	3,674,452
売上原価	2,384,177	2,597,684
売上総利益	983,429	1,076,767
販売費及び一般管理費	725,505	786,210
営業利益	257,923	290,556
営業外収益		
受取利息	67	5
受取配当金	1,851	2,280
保険金収入	1,786	2,337
その他	5,709	2,647
営業外収益合計	9,415	7,269
営業外費用		
支払利息	12,934	10,339
減価償却費	2,098	88
その他	—	1,893
営業外費用合計	15,032	12,321
経常利益	252,306	285,505
特別利益		
固定資産売却益	1,235	—
投資有価証券売却益	—	7,096
特別利益合計	1,235	7,096
特別損失		
固定資産除却損	3,886	8,257
特別損失合計	3,886	8,257
税金等調整前四半期純利益	249,655	284,344
法人税等	96,887	103,359
四半期純利益	152,768	180,985
親会社株主に帰属する四半期純利益	152,768	180,985



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	152,768	180,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,446	7,418
その他の包括利益合計	4,446	7,418
四半期包括利益	157,214	188,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157,214	188,403

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	249,655	284,344
減価償却費	143,811	166,525
のれん償却額	2,169	2,169
受取利息及び受取配当金	△1,919	△2,285
保険金収入	△1,786	△2,337
支払利息	12,934	10,339
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△7,096
固定資産売却益	△1,235	—
固定資産除却損	3,886	8,257
売上債権の増減額 (△は増加)	33,660	△30,715
棚卸資産の増減額 (△は増加)	5,911	△14,250
仕入債務の増減額 (△は減少)	△58,760	△26,809
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△94,929	37,885
その他	△24,218	△44,132
小計	269,179	381,894
保険金収入の受取額	1,786	2,337
利息及び配当金の受取額	1,621	1,935
利息の支払額	△12,934	△10,339
法人税等の支払額	△72,437	△80,234
営業活動によるキャッシュ・フロー	187,215	295,593
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△77	△2,579
投資有価証券の売却による収入	—	25,029
資産除去債務の履行による支出	△2,926	△8,204
有形固定資産の取得による支出	△209,974	△218,695
有形固定資産の売却による収入	17,269	264
無形固定資産の取得による支出	△9,370	△3,160
その他	1,995	868
投資活動によるキャッシュ・フロー	△203,083	△206,476
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	400,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△638,823	△371,087
リース債務の返済による支出	△34,141	△24,888
配当金の支払額	△27,137	△44,595
財務活動によるキャッシュ・フロー	△300,101	△140,571
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△315,969	△51,454
現金及び現金同等物の期首残高	1,618,806	1,428,439
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,302,837	1,376,984

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年7月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コインパーキ ング事業	プロパティマネ ジメント事業	計				
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	1,852,322	360	1,852,683	2,615	1,855,299	—	1,855,299
一定期間にわたり移転される 財又はサービス	1,392,136	—	1,392,136	—	1,392,136	—	1,392,136
顧客との契約から生じる収益	3,244,459	360	3,244,819	2,615	3,247,435	—	3,247,435
その他の収益 (注) 4	60,456	59,715	120,171	—	120,171	—	120,171
外部顧客への売上高	3,304,915	60,075	3,364,991	2,615	3,367,607	—	3,367,607
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	132	132	—	132	△132	—
計	3,304,915	60,207	3,365,123	2,615	3,367,739	△132	3,367,607
セグメント利益又は損失 (△)	485,635	821	486,456	△20,626	465,830	△207,906	257,923

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、工芸品販売事業、ドローン事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△207,906千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△209,106千円、その他の調整額1,200千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

その他の調整額は、報告セグメントに帰属しない当社に対する経営指導料支払額の消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他の収益」は、リース取引に関する会計基準に基づく収益であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コインパーキ ング事業	プロパティマネ ジメント事業	計				
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	2,119,846	433	2,120,280	3,628	2,123,908	—	2,123,908
一定期間にわたり移転される 財又はサービス	1,426,581	—	1,426,581	—	1,426,581	—	1,426,581
顧客との契約から生じる収益	3,546,428	433	3,546,862	3,628	3,550,490	—	3,550,490
その他の収益 (注) 4	61,586	62,374	123,961	—	123,961	—	123,961
外部顧客への売上高	3,608,015	62,808	3,670,823	3,628	3,674,452	—	3,674,452
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	132	132	—	132	△132	—
計	3,608,015	62,940	3,670,955	3,628	3,674,584	△132	3,674,452
セグメント利益又は損失 (△)	535,088	7,073	542,162	△19,395	522,766	△232,209	290,556

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、工芸品販売事業、ドローン事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△232,209千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△233,409千円、その他の調整額1,200千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

その他の調整額は、報告セグメントに帰属しない当社に対する経営指導料支払額の消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他の収益」は、リース取引に関する会計基準に基づく収益であります。